

朝日新聞

見学記念版

大阪市北区中之島
3-2-4(〒530-8211)
朝日新聞大阪本社
代表室
アサコムホール
電話 06-6201-8033



朝日新聞

愛知大学経営総合科学研究所の皆さん

みよし市の愛知大学経営総合科学研究所の皆さんが12日、大阪市北区中之島の朝日新聞大阪本社を訪れました。アサコムホールで見学担当者から新聞社の説明を聞いたり、案内ビデオを見たあと、実際に新聞づくりをしている編集局や印刷をしている輪転機、発送の現場などを見学しました。

朝日新聞社を見学

毎日、家庭へ届けられ、生活に欠かせない新聞は製作過程のあちこちでコンピュータを使っていきます。みなさんは新聞が、取材から印刷されて家庭に届くまでの仕組みや、新聞社で働く人たちの様子などを勉強するために、朝日新聞社の見学に行ってきました。まず、見学者ホールに入り、全国各地や海外に広がる朝日新聞の取材網や高校野球などの事業を紹介するビデオを見たあと、いよいよ社内見学。新聞記者やカメラマンが働く編集局のある3階へ。



編集局・地域面編集



給紙部にあるたくさんの巻取紙



新聞が束になって運ばれる



トラックに積み込まれる新聞

朝日新聞の第1号は、1879年(明治12年)1月25日に大阪の江戸堀で発行されました。1部(4ページ)が1銭で、1カ月の購読料は18銭でした。漢字にはふりがなが

ついていました。第1号と第2号の印刷部数は約3000部ずつでした。今では東京、大阪、西部、名古屋の4本社と北海道支社には2万部を超え、全国トップになりました。1888年4月現在、

年(明治21年)には東京朝日新聞も創刊されました。今では東京、大阪、西部、名古屋の4本社と北海道支社には2万部を超え、全国トップになりました。1888年4月現在、

世界に広がる
す。このほか、国内だけでなく、通信衛星回線を使ってロンドン(ハーレン(オランダ)、ニューヨーク、ロサンゼルス、シンガポール、香港でも印刷、発行しています。



朝日新聞 ASA-COM

見学を前に記念撮影をするみなさん

大阪・中之島の朝日新聞大阪本社アサコムホールで

ダルマさんで印刷

アサコムホールに展示している小型印刷機「写真」は、その姿から「ダルマ」「おたふく」という愛称をつけていました。米国・ホー社製で、印刷の仕組みはハンコと同じですが、朝日新聞が創刊した1879年ごろの印刷機としては精



巧で、1時間に300枚を印刷していました。印刷機で印刷した朝日新聞創刊号の複製版(1面)を差し上げています。

朝日新聞社には、社外の方から寄せられる御意見や御要望を、9月21日(土)18時、直通電話06-6201-8016にて、調査結果を御報告いたします。また、読者と朝日新聞との接点に立つ、第三者の学識経験者5人による紙面審議会も設けています。読者の声を尊重します

新聞ができるまでの説明を聞き編集局の中を歩いたあと、エレベーターで地下4階まで下りて新聞用紙が置いてある給紙部を見学。続いて新聞を印刷する輪転機や刷り上がった新聞をこん包したりするところなどを見学したあと、アサコムホールに戻り、2012年秋に完成予定の新しいビルの模型を見たりしました。

アサコムホールでは、読者のみなさんに利用していただく新聞編集機(パソコン)が台あり、文字は朝日新聞本紙と同じ書体を使っています。また、PTAの広報委員や個人を対象に、新聞づくり講習会(紙面で

新聞ができるまでの説明を聞き編集局の中を歩いたあと、エレベーターで地下4階まで下りて新聞用紙が置いてある給紙部を見学。続いて新聞を印刷する輪転機や刷り上がった新聞をこん包したりするところなどを見学したあと、アサコムホールに戻り、2012年秋に完成予定の新しいビルの模型を見たりしました。

新聞ができるまでの説明を聞き編集局の中を歩いたあと、エレベーターで地下4階まで下りて新聞用紙が置いてある給紙部を見学。続いて新聞を印刷する輪転機や刷り上がった新聞をこん包したりするところなどを見学したあと、アサコムホールに戻り、2012年秋に完成予定の新しいビルの模型を見たりしました。